

講義録レポート

講義録コード

03-24-3-02-[1] - [0] [3]

講 座	税 理 士	科目	財務諸表論
目標年	2024年合格目標	テキスト	N o . (1)
コース	速 修	回 数	第 (3) 回
用 途	・ ビデオブース		
	・ W E B 通 信 ・ D V D 通 信 ・ 資 料 通 信 ・ W e b フォロー ・ 音 声 D L フォロー		

収録日	2023 年 11 月 16 日		
講師名	渡辺 俊宏 先生	板 書	3 枚 ※レポート含まず
		その他	5 枚 (名称／該当教材) 補助レジュメ
			枚 (名称／該当教材)

授業構成	講義(54分)	⇒	講義(55分)	⇒	講義(40分)
	現金預金 長期預金		銀行勘定の調整 当座借越		金銭債権 関係会社

実施 テスト	【 ● 】ミニテスト	テキストNo.(1)第(3)回	テストでの正誤	
	【 】実力テスト			
	【 】その他 (			

	【 ● 】基本テキスト	No.(1)	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください
使用教材	【 ● 】トレーニング	No.(1)	【 】理論テキスト
	【 】ポイントチェック		【 】その他()

配布教材	【 基本テキスト	No.()	【 ポイントチェック	
	【 トレーニング	No.()	【 理論テキスト	
	【 トレーニングシート	No.()		
	【 テスト帳合レジュメ	《講義録添付なし》	(	)
	【 別途配布レジュメ	《講義録添付あり》	(	)
	【 その他	(		)

備考	いずれも大切な論点です。しっかり復習していきましょう！ (渡辺)
----	-------------------------------------

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

T A C 税理士講座

財務諸表論【ミニテスト】

答用紙をチャック

タイトル関係・区分名・利益名→埋める

基礎マスター
速修コース

問題一テキストNo.1 第3回

⑦ 7.3.31

制限時間 10分

C株式会社の当期（令和5年4月1日から令和6年3月31日）の次に示す資料により、会社計算規則に準拠した貸借対照表及び損益計算書の一部を作成しなさい。

〔資料1〕残高試算表（一部）

T/B仕入割31

売上割31をチャック

売原

96,000
730,000
-196,000
630,000

+50

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
長期預金	25,000	短期借入金	12,000
⋮	⋮	⋮	⋮
期首商品棚卸高	96,000	期末商品棚卸高	196,000
当期商品仕入高	730,000	売上高	1,302,500
販売費及び一般管理費	421,500	受取利息	1,800
✓売上値引	12,500	投資不動産賃貸料	3,300
支払利息	8,200	固定資産売却益	1,500
固定資産災害損失	7,500	⋮	⋮
法人税、住民税及び事業税	96,600		
⋮	⋮		

-12,500

+63

-1,650

〔資料2〕参考事項

1 残高試算表の投資不動産賃貸料3,300千円は、当期首に賃貸を開始した建物に対して受け取ったものである。
契約期間は2年間で賃貸料を全額前受けしている。

⑤ 賃貸料 1,650 / 前受収益 1,650

2 残高試算表の長期預金25,000千円は、令和5年10月1日に預け入れた定期預金である。利払日は年1回9月末であり、経過利息63千円の処理が未了である。

未収収益 63 / 受取利息 63

3 残高試算表の短期借入金12,000千円は、令和5年11月1日に借り入れたものであり、令和6年10月31日に一括返済するものである。返済時に利息を支払うことになっているが、経過利息50千円の処理が未了である。

支払利息 50 / 未払費用 50

◆ 今日の学習内容

- (1) 現金預金
- (2) 長期預金の判定
- (3) 銀行勘定の調整
- (4) 金銭債権
- (5) 関係会社の判定
- (6) B/S注記

◆ 小切手のまとめ (P62)

- (1) ○○○小切手 →
- (2) 先日付小切手 →
(振出日 =)
- (3) 未取付小切手 →
未取立小切手

◆ 銀行勘定調整のメモ例 (P71)

当 社		B/K	
T/B	349,200	残高	442,200

◆ 当座借越 (P72)

(1) ケース 1 : T / B に「当座借越」なし

① 科目修正 : T / B 「当座預金」 → 「現金及び預金」

② 修正仕訳 :



①・②をまとめると

(2) ケース 2 : T / B に「当座借越」あり

① 科目修正 : T / B 「当座預金」 → 「現金及び預金」

T / B 「当座借越」 → 「短期借入金」

【参考】当座借越「ケース 1」の問題構造 (一勘定法)

T / B	
A 当座預金	2,000
B 当座預金	0

→ B 銀行の当座預金から広告宣伝費 1,000 引き落とし
(仕訳)

広告宣伝費 1,000 / 当座預金 1,000



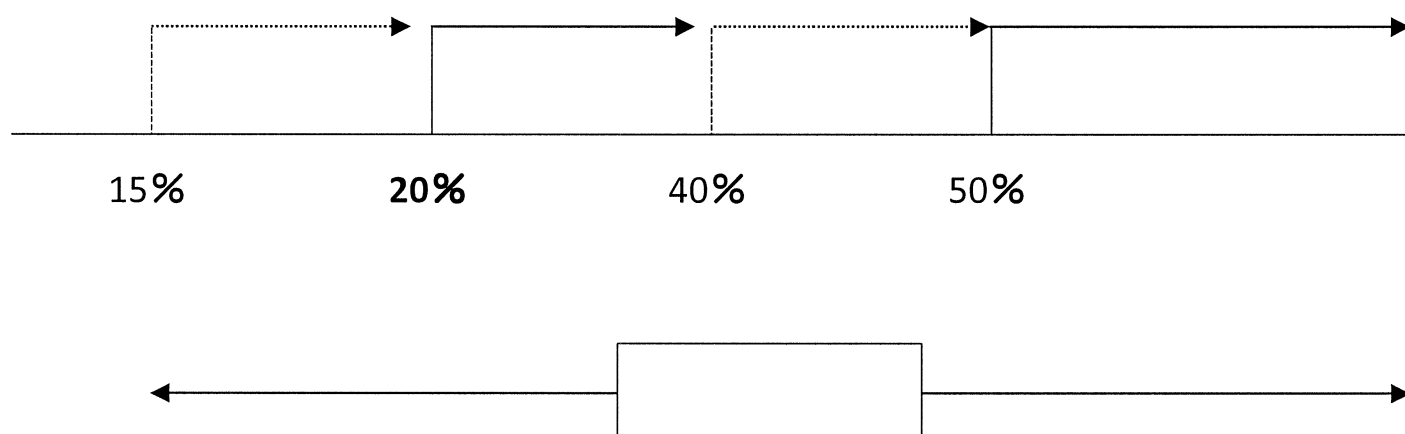
T / B	
A 当座預金	2,000
B 当座預金	-1,000

問題点 : 当座借越契約を結んでいるのに預金残高がマイナス

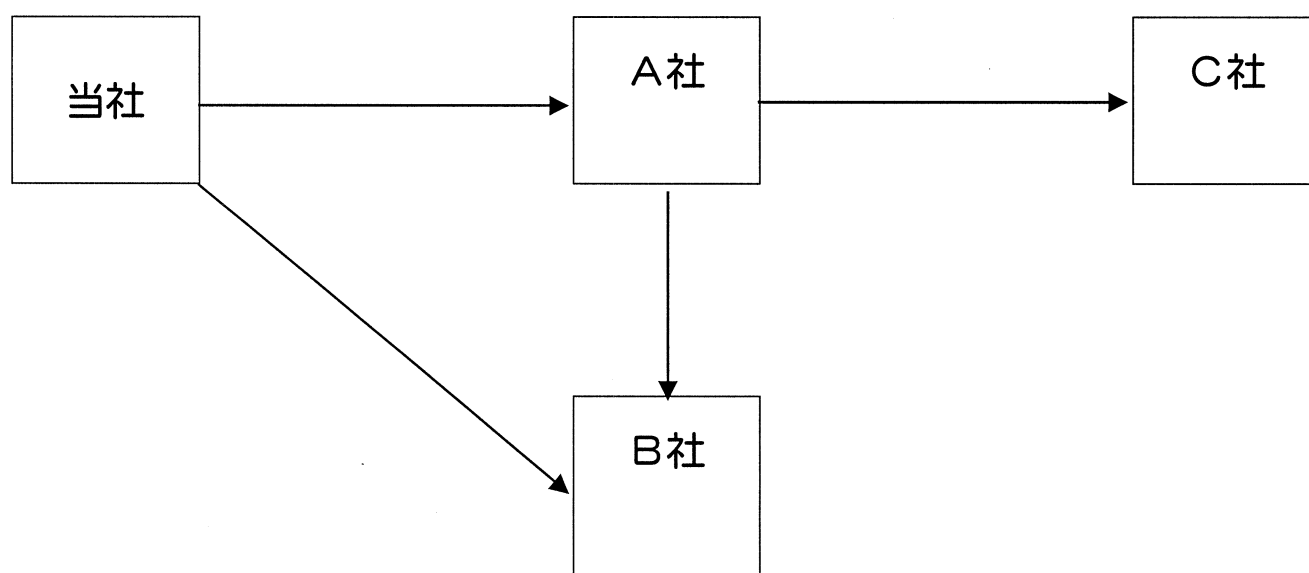


T / B	
当座預金	1,000 ← (A 2,000 + B -1,000)

◆ 関係会社の判定 (P81)



◆ プラス α (P82)



【貸借対照表等に関する注記】

<覚えなければいけない注記>

(1) 担保提供資産（預金を担保に供している場合）(No. 1-P74)

(イ) 長期預金のうち1,000千円を長期借入金1,200千円の担保に供している。

(ロ) 長期預金全額を当座借越契約の担保に供している。

B/Sの表示科目を使用する。(注) 定期預金・積立預金などは×

(2) 取締役・監査役・執行役に対する金銭債権 (No. 1-P99)

取締役に対する金銭債権が1,000千円ある。

(注) 総額で記載するので「金銭債権」を使用

→ 短期・長期に分けない + B/S科目を使用しない。

(3) 保証債務 (No. 1-P163)

A社の金融機関からの借入金に対し、5,000千円の債務保証を行っている。

(注) 発生の可能性が高い＝債務保証損失引当金 → 注記不要

(4) 重要な係争中の事件 (No. 1-P164)

B社から商標権の侵害があったとして、損害賠償請求額80,000千円を受け、現在係争中である。

(注) 発生の可能性が高い＝損害補償損失引当金 → 注記不要

(5) 手形の割引・裏書 (No. 2)

受取手形割引高 5,000千円

(注1) 金額＝額面金額

(注2) 決済日＝翌期以降のみ（決済が済んでいるものはリスクがないので注記不要）

(例題) 事業年度：2023年年4月1日～2024年3月31日

① 当期に受取手形5,000千円（決済日：2024年3月10日）を銀行で4,950千円にて割り引いた。

→ 注記不要（決済が済んでいる＝リスクなし）

② 当期に受取手形5,000千円（決済日：2024年4月10日）を銀行で4,950千円にて割り引いた。

→ 注記必要（未決済＝リスクあり）

税 理 士 講義録	コース・講義等	速修	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.1 第3回
-----------	---------	----	-----	-------	-----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : [] ★ その他の配布物 1 : [] ★ その他の配布物 2 : []	講 師	渡 辺 先生
-----	---	-----	--------

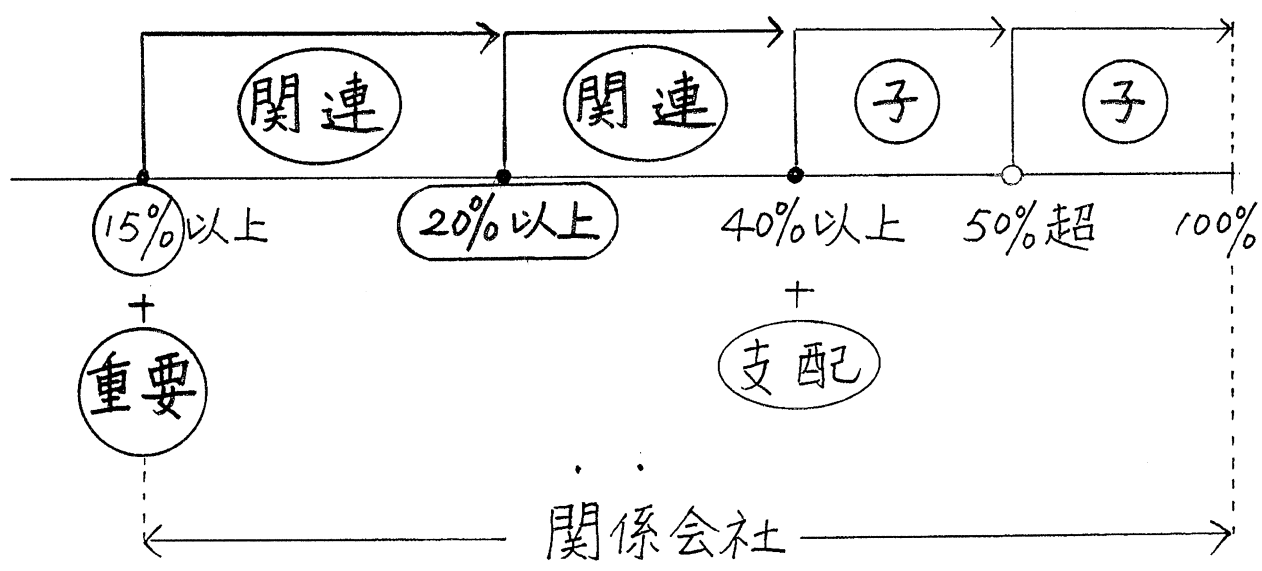
黒 板 内 容	
① 銀行勘定調整のメモ例(設例 P.69)	
当 社 T/B 349,200 (2) + 70,000 (3) + 37,000 (5) - 2,000 454,200	銀 行 残高 442,200 (1) + 68,000 (4) - 56,000(未取付) 454,200
② 当座借越(設例 P.73)	
(1) T/Bに「当座借越」なし	
② 修正仕訳: 現金預金 1,000 / 短期借入金 1,000 当座借越分	
↓	
現金預金 2,000 / 短期借入金 1,000 当座預金 1,000	
③ 営業外受取手形(P.78)	
短期 or + 内容 + 受取手形 長期	

税 理 士 講義録	コース・講義等	速修	科目	財務諸表論	回数	テキストNo.1 第3回
-----------	---------	----	----	-------	----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : [] ★ その他の配布物 1 : [] ★ その他の配布物 2 : []	講師	渡辺 先生
-----	---	----	-------

黒 板 内 容

㊦ 関係会社の判定 (P.81)



㊦ + × (P.82)

